

月	単元名	■単元の学習内容	○単元の評価規準		□主な評価方法
4～5	表現	■歌唱 「校歌」 「We'll Find The Way」 「My Voice!」 「主は冷たい土の中に」 「浜辺の歌」	知	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表すことができる。	□定期考査 □実技テスト □観察
			思	音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもって表現している。	
			主	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方に気付き、それらを生かした歌唱表現に粘り強く取り組んだり創意工夫して歌おうとしている。	
	鑑賞	■鑑賞 「春」 「魔王」	知	曲想と音楽の構造との関わりを理解することができる。	□定期考査 □ワークシート
			思	音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら曲や演奏に対する評価の根拠について自分なりに考え、言葉でまとめることができる。	
			主	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、その音楽を深く味わおうとしている。	
6	表現	■器楽 箏 「さくら さくら」	知	箏の音色や奏法を理解し、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏することができる。	□定期考査 □ワークシート
			思	音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもって創作している。	
			主	箏の音色や響きと奏法の関わりに関心を持ち、主体的・協働的に箏の演奏に粘り強く取り組もうとしている。	
6～7	表現	■歌唱 音楽祭 課題曲 自由曲 「指揮をしてみよう」 「いろいろな記号・用語」	知	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表現することができる。	□定期考査 □ワークシート □観察
			思	音色、速度、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように歌うかについて思いや意図をもって表現している。	
			主	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
8	鑑賞	■鑑賞 「六段の調」	知	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	□定期考査 □ワークシート
			思	音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、言葉でまとめることができる。	
			主	箏曲の特徴を感じ取り、その背景となる文化や歴史との関わりに関心を持ち、その音楽を深く味わおうとしている。	
9～10	表現	■歌唱 音楽祭 課題曲 自由曲 「自分たちの表現を工夫しよう」 「赤とんぼ」	知	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表現することができる。	□定期考査 □実技テスト □観察
			思	音色、速度、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように歌うかについて思いや意図をもって表現している。	
			主	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
10	鑑賞	■鑑賞 「越天楽」「日本の民謡」 「アジア諸民族の音楽」	知	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	□定期考査 □ワークシート
			思	音楽が生み出す特質や雰囲気を感じながら、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴き、言葉でまとめることができる。	
			主	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、曲想と音楽の構造や音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心を持ち、その音楽を深く味わおうとしている。	
11	表現	■器楽 アルトリコーダー 音階 「喜びの歌」 「エーデルワイス」	知	アルトリコーダーの基本的奏法を身に付け、全体の響きを聴きながら他者と合わせて演奏することができる。	□定期考査 □実技テスト
			思	音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもって演奏することができる。	
			主	曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、リコーダーの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	
12	表現	■器楽 ギター 「きらきら星」	知	ギターの基本的奏法を身に付け、全体の響きを聴きながら他者と合わせて演奏することができる。	□定期考査 □実技テスト
			思	音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもって演奏することができる。	
			主	曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、ギターの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	
1～2	表現	■創作 「リズムゲーム」 「リズムアンサンブル」 「リズム創作」	知	課題や条件に沿った音符、休符の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作することができる。	□作品発表 □定期考査
			思	リズム、テクスチャ、強弱を知覚し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図を持ち、楽譜に書くことができる。	
			主	音符や休符の組み合わせに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら創作の活動に、粘り強く取り組もうとしている。	

3	表現	■歌唱	知	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表現することができる。	□ワークシート □観察
		卒業式・入学式の歌	思	音色、速度、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもって表現している。	
		生活や社会の中の音楽	主	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に歌唱の学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	